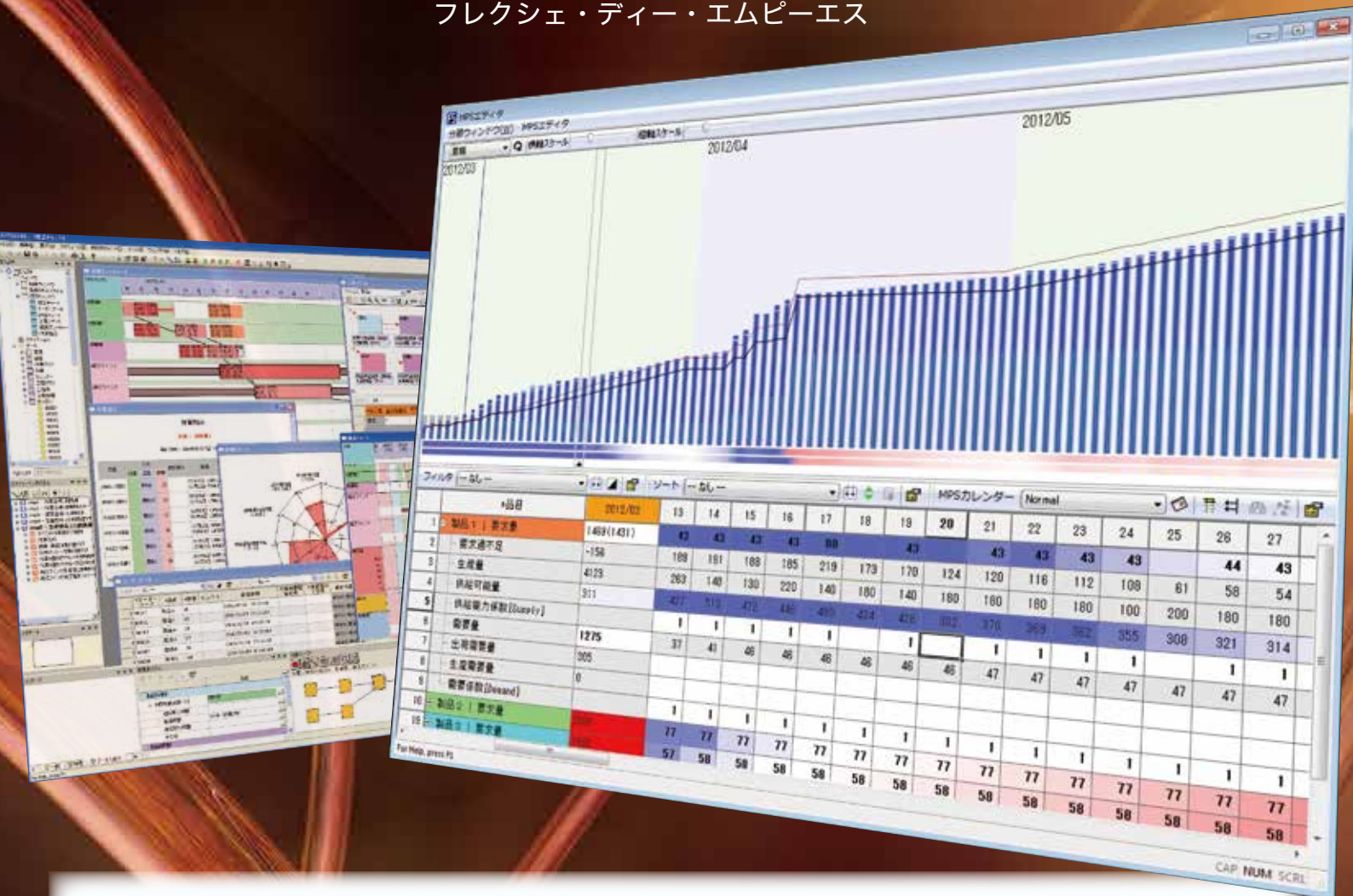


見込み生産のための革新的な需給バランス調整システム FLEXSCHE d-MPS

フレクシェ・ディー・エムピーエス



食品メーカーや日用品メーカーのように常に需要を予測しながら生産する業種、あるいは自動車部品メーカーや電子部品メーカーのように内示情報に基づいて先行生産せざるを得ないような業種を常に悩ませ続けるのは「**需要の不確実性と短期的変動**」。日々の生産量と確定需要の間のギャップを埋めるための製品在庫量のコントロールは至難の業です。多数の品種それぞれについてアクセルとブレーキの巧みな操作を少しでもおろそかにすると、すぐに無駄な製品在庫が積み上がり、あるいは逆に突然の欠品が発生し、そして製造現場は変動に振り回されて混乱することになるでしょう。

- 需要予測の精度が低いから？
- 在庫水準が低すぎた？
- 製販調整会議の頻度が少ないから？

問題の本質はそんなことではありません。トラブルの可能性を予見して素早く適切に対処するための仕組みが欠けていることが問題なのです。未来を正確にシミュレーションし、予測される需要量と工場による供給可能量の推移を比較・監視し、いざというときに速やかに対処することが、本来あるべき「**需要の不確実性と短期的変動**」との正しい付き合い方です。

確率的な幅を伴って日々変動していく需要量をそのまま工場への要求量とすべきではありません。未来の需要量の推移を参考にしつつも、要求量をそれとは独立に決めてやることで、製造現場を混乱から守りつつ、いざ赤信号が灯ったときには速やかに対処することが可能となるのです。

過去から未来に渡る確率的な需要量の推移を視覚化して正しく把握すること。それに基づいて工場への要求量を適正に決めてやること。そして工場の正確な生産能力に基づく供給量を求めてチェックすること。これらは従来のMPS（基準生産計画）と製販調整プロセスに頼る業務サイクルでは、決して実現できません。

未来の需給バランスを常に監視し、緻密なスケジューリングに基づいて過不足の可能性を予見し、素早く的確に要求量を調整する・・・「**需要の不確実性と短期的変動**」に対処するためのそんな当たり前の、それでいてこれまでは実現できなかった、製造業の切実な要望にダイレクトに応える画期的な生産計画ソリューション、それがFLEXSCHE d-MPSです。

時間と闘う製造業のために
柔軟性を極めた新世代の生産スケジューラ [フレクシェ]

FLEXSCHE



出荷が確定してから製造に着手できる製造業においては、適切な製造計画を立案してからきちんと実行できさえすれば、確実に需要に応えることができます。しかし一方、出荷の時期と数量が確定する前に見切り発車しなくてはならない多くの製造業は「**需要の不確定性と短期的変動**」にさらされ、いかに緻密な計画を立てようとも、さまざまな困難に直面することは避けられません。

無駄な製品在庫が積み上がる

予期しない製品の欠品が頻発する

多品種間バランスの調整が困難

製造現場が需要変動に振り回される

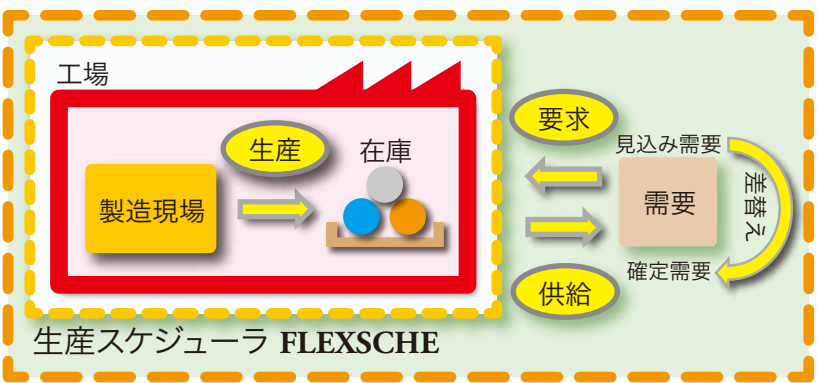
FLEXSCHE d-MPS は、これらの悩みを直接的に解決するための道具です。当初の見込み需要量から派生する硬直化した基準計画に支配される「ウォーターフォール型生産計画」を脱却し、日々確定していく需要が未来に与える影響を常にチェックしつつ必要とあらば速やかに再調整する「**適応型生産計画**」とでも呼ぶべき新たなパラダイムへと転換する道を開きます。

ただし頻繁な計画変更は製造現場を混乱させます。そこで FLEXSCHE d-MPS では、確率論的に想定される範囲内での変動を吸収できる程度に余裕のある量を工場へ要求し、その想定を超える変動が生じた場合に限り、他製品への影響に気を配りながら慎重に調整することになります。工場のリソースが限られた状況においては在庫を積み上げておく余裕がないため、よりシビアに監視し、きめ細かく対応して乗り切ることが求められるかもしれません。このような場合、緊迫度を一目で把握できる視覚的なアラート機能が計画担当者を強力に支援するでしょう。

どれほど立派な生産計画を立案しようとも、実行可能性が裏付けられていなければ絵に描いた餅に過ぎません。生産スケジューラによって緻密にシミュレーションして工場の実際の供給可能量を導き出すことで、生産計画の妥当性を常に確認できることも FLEXSCHE d-MPS の特長のひとつです。

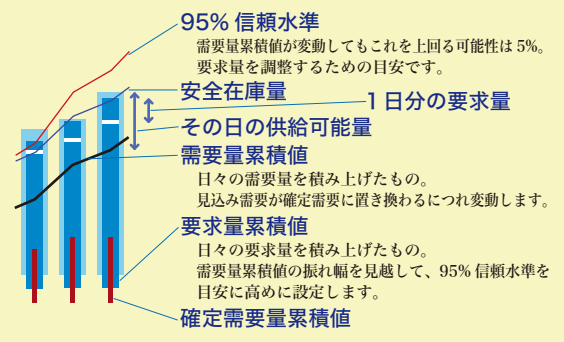
FLEXSCHE d-MPS は、未来の可能性を視覚化し、常に監視し、過不足を予見し、工場への要求量を的確に決めていくための環境を提供します。

| | ウォーターフォール型生産計画 旧来の基準生産計画 (MPS) | 適応型生産計画 FLEXSCHE d-MPS |
|-----------|-----------------------------------|----------------------------|
| 情報の流れ | 一方通行 | 双方向 |
| 更新サイクル | 月に1回~数回 | 随時 |
| 再調整の契機と手段 | 製販調整会議など | 確率的予測によるアラート表示とインタラクティブな操作 |
| 生産能力の反映 | 大まかな負荷見積もり | 緻密なシミュレーション (スケジューリング) |



需給バランス調整システム FLEXSCHE d-MPS

MPS エディタのグラフの見方



FLEXSCHE d-MPS の特徴

生産スケジューラと一体化

- 未来の供給の過不足を速やかに予見できる
- 有限能力シミュレーションにより実行可能性が裏付けられるので、信頼性の高い生産計画を立案できる

需給バランスの推移を視覚化

- 現在から未来にかけての過不足が色分けにより一目で把握できる
- 変更の影響が瞬時に反映されるので、効率よく的確に調整できる
- 多品種間の状態を見比べることで、偏りなく調整できる

製品構成と価格

FLEXSCHE d-MPS 200 万円

- ※各種 FLEXSCHE パック製品との同時購入時は 180 万円になります。
- ※FLEXSCHE d-MPS は生産スケジューラ FLEXSCHE の拡張オプション製品なので、FLEXSCHE GP 本体と FLEXSCHE Editor が必須です。
- ※FLEXSCHE d-MPS で安全在庫量の推移を設定できるようにするためには、GP 上級オプション「在庫水準推移」が必要です。
- ※推奨される構成は
FLEXSCHE GP Advanced Pack (480 万円) + FLEXSCHE d-MPS (180 万円) 計 660 万円です。

時間と闘う
製造業のために

株式会社フレクシェ

〒108-0075 東京都港区港南2-4-8 大島ビル5F

TEL : 03-6712-9549

E-mail : sales-contact@flexsche.com

http://www.flexsche.com/